

搾り取られ専門サークル  
drain

30歳童貞、

サキュバスを召喚したら

赤ちゃんプレイを強要された。



童貞のまま30歳を迎えてしまったマゾたちへ。

童貞で30歳を超えると魔法が使える？

そうね。召喚魔法が使えるわ。

でもコストがかかるわよ。

具体的に言うと、魔力を代償として払ってもらわうわ。

魔力がない？

仕方ないわね。

それなら代わりにものをもらわうわ。

貴方の精液をね

「へー、30歳で童貞のままだったんだあ」

「だからって二人も女の子を召喚するなんてどうかしてるわ」

「・・・あの」

「あーはいはい。わかってるわよ。お金も魔力もないんでしょ？」

「でも召喚されておいて何も持って帰らないわけにいかないわ。  
いいわ。精液で我慢してあげる」

「精液も精製すれば魔力になるしね！」

「じゃあ、早速始めましょっか♥️」

「童貞マゾ。パンツを下ろしなさい」



「やだ！ 亀頭から下に皮が下りないんだけど…」

「クスクス。こんなおチ○ポじゃ女の子は抱けないよね」

「ねえ、ママ以外のおっぱいを見たのは初めて？」

「リアクション見るとそんな感じね。クスクス」

「じゃあ、まずはWおっぱいを堪能してもらいましょうか」

「・・・あっ！」

「クスクス。まだおっぱい当てただけよ」

「オチ○チンがもうビクンビクンしてる」

「搾り尽くすからそのつもりでね♥️」

「おっぱい…見ていいのよ」

「言う前にもうクギづけじゃない(笑)」

「このスベスベでツヤツヤで柔らかくて…」

「それでいて暖かい。おっぱいに包まれて…」

「天使のサキュバスのおっぱいでモミュモミュ♥」

「悪魔のサキュバスのおっぱいにシコシコシコ♥」



「はい。射精3回め～」

「だいぶ力が抜けてきたわね」

「あー、もうおチ○ポでしかモノを考えていないよ、コイツ」

「自分で召喚したサキュバスに、  
こんな簡単に快樂で負けちゃうんなんて…」

「情けな～い(笑)」

「クスクス」

天使のサキュバスと悪魔のサキュバス。  
自ら召喚した二人のサキュバスから  
毎日パイズリされ続けて1週間が経ち…

「だいぶ精神が幼くなってきたわね～」

「おチ○ポも小っちゃくなってきたしねー」

「男は皆、おチ○ポ搾られると精神が幼くなってしまうのよねー」

「いやいや、それってあたしらサキュバスのせいだから(笑)」

「・・・あっ！・・・あっ！・・・あっ！・・・あっ！」

「よちよち♥いい子でチュね～。おねんねしましょうね～」

「ミニサイズ貫通型オナホにチ○ポがすっぽり埋まってるとか男としてあり得なくね？」

「・・・あっひっ！」



「まあ、チ○ポが小さくなったのもアタシらのせいなんだけどね～」

「クスクス。あ、また出た。  
おチ○ポが小っちゃくなってるから分かりにくいね」

「おチ○ポシコシコしてくれた悪魔のお姉ちゃんに  
お礼を言いまちようね～」

「あ、ひっ！」

「お、又出た。もうパイズリじゃなくても問題ないな。  
・・・童貞マゾは」

「折角魔法でサキュバス呼び出したのに、  
マ○コは味わえそうにないわね。クスクス」

精神が退行し始め、おチ○ポも縮小してしまった30歳童貞マゾ。  
ますます進む退行。  
精液を搾り取られ続けて一夜明けると・・・